

「最初のクリスマスのときに起こった出来事の内にこそ、キリスト教の啓示の最も深く、測り知れない真理があります。神が人となられたのです。…考えれば考えるほど、その偉大さに心が打たれます。この受肉という真理は、どんな空想話よりも驚くべきもののなのです。」(JI パッカー)

●希望の背景：民を取り巻いていた苦しみ

▶北王国イスラエル(別名：エフライム)と南王国ユダ

○『ひとりのみどりご』：希望をもたらす三つの約束

1. \_\_\_\_\_が与えられる(1-3)

※イザヤ 6:9

「行って、この民に言え。『聞き続けよ。だが悟るな。見続けよ。だが知るな。』」

※イザヤ 42:20

「あなたは多くのことを見ながら、心に留めず、耳を開きながら、聞こうとしない。」

※1 コリント 2:14

「生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。それらは彼には愚かなことだからです。また、それを悟ることができません。なぜなら、御霊のことは御霊によってわきまえるものだからです。」

※イザヤ 5:24-25, 30

「それゆえ、火の舌が刈り株を焼き尽くし、炎が枯れ草をなめ尽くすように、彼らの根は腐れ、その花も、ちりのように舞い上がる。彼らが万軍の主のみおしえをないがしろにし、イスラエルの聖なる方のみことばを侮ったからだ。このゆえに、主の怒りが、その民に向かって燃え、これに御手を伸ばして打った。山々は震え、彼らのしかばねは、ちまたで、あくたのようになった。それでも、御怒りは去らず、なおも、御手は伸ばされている。…その日、その民は海のとどろきのように、イスラエルにうなり声をあげる。地を見やると、見よ、やみと苦しみ。光さえ雨雲の中で暗くなる。」

※マタイ 4:13-16

「そしてナザレを去って、カペナウムに来て住まわれた。ゼブルンとナフタリとの境にある、湖のほとりの町である。これは、預言者イザヤを通して言われた事が、成就するためであった。すなわち、「ゼブルンの地とナフタリの地、湖に向かう道、ヨルダンの向こう岸、異邦人のガリラヤ。暗やみの中にすわっていた民は偉大な光を見、死の地と死の陰にすわっていた人々に、光が上った。」」

※ヨハネ 8:12

「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」

2. \_\_\_\_\_が与えられる(4-5)

▶「粉々に砕かれたからだ」(他：「光栄を受けた」「大きな光を見た」「光が照った」etc.)

▶「ミデヤンの日になされたように」

※士師記 7:2-3

「そのとき、主はギデオンに仰せられた。「あなたといっしょにいる民は多すぎるから、わたしはミデヤン人を彼らの手に渡さない。イスラエルが『自分の手で自分を救った』と言って、わたしに向かって誇るといけないから。今、民に聞こえるように告げ、『恐れ、おののく者はみな帰りなさい。ギルアデ山から離れなさい』と言え。」すると、民のうちから二万二千人が帰って行き、一万人が残った。」

※士師記 7:20-22

「三隊の者が角笛を吹き鳴らして、つぼを打ち砕き、それから左手にたいまつを強く握り、右手に吹き鳴らす角笛を強く握って、「主の剣、ギデオンの剣だ」と叫び、それぞれ陣営の周囲の持ち場に着いたので、陣営の者はみな走り出し、大声をあげて逃げた。三百人が角笛を吹き鳴らしている間に、主は、陣営の全面にわたって、同士打ちが起こるようにされた。それで陣営はツェレラのほうのベテ・ハシタや、タバテの近くのアベル・メホラの端まで逃げた。」

### 3. \_\_\_\_\_が与えられる(6-7)

#### 1) 不思議な助言者

※コロサイ 2:3

「このキリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されているのです。」

#### 2) 力ある神

※マタイ 8:26

「イエスは言われた。「なぜこわがるのか、信仰の薄い者たちだ。」それから、起き上がって、風と湖をしっかりとつけられると、大なぎになった。」

※マルコ 2:7

「この人は、神を冒瀆している。…神おひとりのほかに、だれが罪を赦すことができるだろうか。」

※マルコ 2:10

「人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために。…」

#### 3) 永遠の父

#### 4) 平和の君

※ルカ 2:14

「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」

※ローマ 5:1

「ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。」

※エペソ 2:14

「キリストこそ私たちの平和であり…」